

平成30年度 学校自己評価システムシート (県立深谷高等学校)

目指す学校像	学力の向上、部活動の振興に重点を置き、地域から信頼される進学校を目指す。 文武両道の精神に基づく心豊かな生徒を育成する。
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 確かな学力の定着を目指し、学習指導の工夫と主体的学習態度の育成を図る。 2 生徒一人一人の進路実現を叶える支援の充実を図る。 3 基本的生活習慣の確立を図り、部活動、学校行事の活性化を支援し、豊かな心を育む。 4 保護者・地域との連携を強化し、開かれた学校づくりを推進する。
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	2名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	6名

学校自己評価						
年度目標				年度評価(2月1日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	<p>【現状】 入学してくる生徒の学力や学習意欲に幅がある。</p> <p>【課題】 個に応じた学習指導と資格取得等により、学習意欲と基礎学力を向上させ、自己肯定感を高める必要がある。</p>	・授業改善に努め学習の意欲を喚起するとともに、学力の定着・向上と学ぶ姿勢を身に付けさせる。	<ol style="list-style-type: none"> ①生徒の実態に合わせた新教育課程の構築。 ②習熟度別授業、少人数授業を生かし、基礎基本の定着を図る。 ③協調学習等による授業改善から「主体的・対話的で深い学び」による「学びの改革」を着実に推進する。 ④生徒の実態に合わせた各種検定の実施。 ⑤教員相互・管理職による授業観察等により授業の工夫・改善による「わかる授業」を研究し学力向上を図る ⑥保護者と連携し、宿題や予習による「家庭学習」時間の向上を図る。 ⑦高大連携を継続し、出前授業や大学での実習等により生徒の興味・関心を喚起し、学習意欲を喚起する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①新たな教育課程が作成できたか。 ②③④成績不振者数の減少、成績優良者数が増加したか。 ・授業理解度、満足度の向上 ・「分かりやすい授業」のポイントが上がったか。 ⑤公開授業を実施できたか。教員間で複数回の授業を見学できたか。 ⑥家庭学習時間が向上したか。 ⑦大学による出前授業、大学での実習の参加者が増えたか。 	<p>基礎学力の定着・向上を目指し、授業改善・保護者や大学との連携を実施し、主体的に学ぶ姿勢が徐々に現れてきた。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①本校の現状を踏まえH31年度入学生用は完成 ②③④成績(1、2学期合計人数) 不振者数:H29:63人→H30:92人 優良者数:H29:206人→H30:214人 ⑤公開授業週間を設け実施。初任者教員の研究授業を中心に教員間の授業見学も実施した。 授業が分かりやすい H29:80%→H30:78% ⑥家庭学習をしている割合 H29:46%→H30:47% ⑦大学による出前授業の実施。夏季休業中の実習参加数:H29:27名→H30:40名 	A
2	<p>【現状】 多くの進学者が指定校推薦及びAO入試等での進学である。</p> <p>【課題】 早い段階から具体的な将来の進路目標を持たせるための仕掛けが必要である。</p>	<p>・特進クラスの活性化</p> <p>・3年間を通してのキャリア教育計画に基づく進路指導により、生徒全員の進路実現を目指す。</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①特進クラスの生徒は、4年制大学・医療系学校等への進学希望者に限定。 ②一般・推薦・AO入試で大学に合格できる力を付けさせる。 ③平日補習・土曜補習への参加は必須。 ④長期休業中の補習の充実。 ①3年間を通してのキャリア教育計画の作成。 ②各学年が進路指導部を中心に生徒の実態に合わせた進路行事を実施する。 ③各種ガイダンスや講演会に保護者を巻き込み家庭の協力と理解を深める。 ④ハローワークなどの外部機関と連携し企業の求人開拓を積極的に行う他、地域の支援を受けて、就職希望者全員の内定を目指す。 	<ol style="list-style-type: none"> ①4年制大学等の進路希望者に限定したクラス編成ができたか。 ②生徒・保護者の学校の進路指導の取組の満足度が向上したか。 ③補習への参加率は向上したか。 ④補習参加率・満足度。 ①計画が作成できたか。 ②③生徒・保護者の学校の進路指導の取組の満足度が向上したか。 ④学校斡旋希望者の内定100%を達成できたか。 	<p>特進クラス活性化に向けたクラス編成・補習が実施できた</p> <ol style="list-style-type: none"> ①希望者多数の為選抜テストを実施した。 ②進路指導の満足度 生徒H29:76%→H30:75% 保護者H29:76%→H30:79% ③特進クラス土曜補習への参加率81.5%と向上した ④補習がよく行われている H29:76%→H30:78% <p>学校を通しての就職や大学・専門学校もほぼ希望通りに決定した。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①3年間を見通した計画が完成した(2月7日現在) ②③きめ細かい進路指導である 生徒H29:75%→H30:75%保護者H29:78%→H30:79% 1学年行事で大学見学会を実施 ④学校斡旋希望者の内定率94%(2/1現在) 	<p>B</p> <p>A</p>
3	<p>【現状】 全体的には、基本的生活習慣の大きな乱れはないが、整容指導、時間厳守(遅刻者)や挨拶等まだ不十分である</p> <p>【課題】 整容、挨拶の励行、時間厳守等の基本的生活習慣を確立し、社会生活に関するルールやマナーを、家庭と連携し継続的に指導する必要がある。</p>	・基本的生活習慣の確立と学校行事や部活動の体験を通して、豊かな心を育成する。	<ol style="list-style-type: none"> ①年度当初から正門指導と各学年、授業、ホームルーム等での整容、遅刻指導の徹底。 ②授業の「チャイムトウチャイム」の徹底から、時間厳守の大切さを教え、遅刻数を減少させる。 ③保護者と連携した交通安全指導(自転車マナー指導)の充実と地域住民へのあいさつの励行を図る。 ④魅力ある部活動を推進し、加入率や実績の向上を図る。(特に女の活性化を図る) ⑤生徒会を中心とした、生徒の自主的な活動による学校行事の活性化を図る。 ⑥部活動等で地域住民との交流事業を実施し、豊かな心を育む。 ⑦清掃の徹底。 	<ol style="list-style-type: none"> ①「頭髪や身だしなみ、時間も守って行動した」ポイントの向上。 ②遅刻者数が減少したか。 ③保護者と連携した交通安全指導を実施し、あいさつが励行できたか。 ④部活動加入率が向上したか。 部活動実績が向上したか。 ⑤学校行事への満足度が向上したか。 ⑥地域との交流事業の実施回数。参加者の満足度。 ⑦「清掃をよくやり、学校がきれいになっている」ポイントの向上。 	<p>年度当初の目標である基本的生活習慣の確立では教職員の粘り強い指導により向上している。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①生徒アンケート H29:88%→H30:90% ②遅刻者数は昨年度と比べ増加している。 ③保護者と連携した交通安全指導2回実施 保護者参加のスクアードストリートを実施 ④部活動加入率 H29:63.4%→H30:63.8% 部活動実績:関東大会H29:1部→H30:4部 全国大会H29:1部(1大会)→H30:1部(2大会) ⑤学校行事への満足度 H29:96%→H30:94% ⑥部活動での地域との交流事業5部33回実施 小・中学生と参加高校生も生き生きと取り組んでいた。 ⑦生徒アンケート H29:79%→H30:80% 	A
4	<p>【現状】 保護者、中学校、地域等へ学校の広報を実施しているが、まだ不足しているさらに学校理解度を高める必要がある。</p> <p>【課題】 学校を積極的に公開、発信し本校の魅力をアピールし、生徒募集に結びつける必要がある。</p>	・教育活動の情報発信を充実させる	<ol style="list-style-type: none"> ①一番の地域の声である学校評議員会、学校評価懇話会の意見を学校経営に反映する。 ②地域や地元中学校、学習塾等の要望をアンケートで把握し、次年度に繋げる。 ③ホームページ、ふかこう通信等を工夫し、中学校や地域住民等への情報発信を強化する。 ④学校説明会の開催時期やアナウンス等を工夫し参加者を増やす。 ⑤昨年からはじめた保護者への「一斉配信メール」を利用し、学校行事への参加者数を増やす。 	<ol style="list-style-type: none"> ①意見を学校経営に繋ぎあてられたか。 ②アンケートを工夫し、広く情報収集・分析し新たな課題や改善策を検討したか ③学校公開来場者数、ホームページへのアクセス数、生徒・保護者の満足度の向上。 ④学校説明会来場者数の向上、本校志望生徒倍率1.10以上。 ⑤学校行事への参加者数が増えたか。 	<p>開かれた学校づくりでは、学校HPや一斉メール配信、保護者等の学校行事への参加の積極的な呼び掛けにより向上した。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①1年生の大学見学会の実施、基本的生活習慣の確立に向けての働きかけ等意見を反映できた。 ②昨年度と今年度のデータを比較し、効果が出た取り組みや新たな課題等を分析できた ③学校のことを地域住民等に知らせている 保護者アンケート H29:81%→H30:88% ④学校説明会来場者 H29:829人→H30:967人 ⑤オリパラ講演会、交通安全教室等参加者の増加 	B

学校関係者評価	
実施日	平成31年 2月12日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会や中学校訪問、学習塾訪問など定員確保に向けて様々な努力をしていることは良いことであるのでさらに充実させたほうが良い。 ・新学習指導要領へ対応する職員研修、授業改善も今後必要になる。忙しい中でもしっかり行うことが大切である。 ・学力向上に向けて、家庭学習を実施している割合が向上していることは大変良いことである。引き続き家庭学習時間の向上に向けて工夫・努力してほしい。 ・家庭学習の時間を増やすために、宿題や課題を計画的に出してほしいという意見もあるので対策を考えてうまく活用してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公務員希望者を対象に新たに学習会を実施した試みは大変良かった。進路指導満足度は80%以上を目指すのが望ましい。 ・将来の目標を家庭と学校が連携して、生徒一人ひとりにしっかりと目標を持たせることが重要である。 ・進路ガイダンスを通して、自分の目標を見つけている生徒も多いようなので、こうした行事を効果的に活用して、生徒の成長を促してほしい。 ・二者面談を増やしてほしいという声もあるので、行事の精選を図るなどして、効果的な取り組みを増やしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・教員が共通認識をもって組織的に取り組むことが重要である。「割れ窓理論」にあるように、集団としての秩序を維持することも大切である。 ・部活動で実績を上げていることは素晴らしい。実績がなかなか出ない部活も入ってよかったという部活動にしてほしい。 ・目安箱の設置など、様々な意見や要望が集められる仕組みを作ってほしい。 ・基本的生活習慣の確立については、社会に出たらその人の人間性の基本になるので、引き続き様々な工夫をしながら、指導を徹底してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から実施しているアンケートは、質問も多岐に渡り充実しているので、継続したほうがよい。 ・学校行事への保護者の参加を積極的に呼びかけ、少ない人数ながら複数の行事に参加者がいたことはよかった。今後も多くの保護者が来校してもらえるような取り組みを工夫して欲しい。 ・学校HPを生徒はあまり見ていないようなので、周知の工夫などをしたほうがよい。